

消費税について話し合う青年たち



青年が語り合う 消費税増税

消費税率10%への引き上げ問題が、7月の参院選を前に一大争点となっています。自民党は4月、「消費税でくらしが変わります 万全の対策で景気をささえます」という文書を発表。日本共産党は5月、「消費税増税の中止 くらしに希望を一三つの提案」で、消費税増税に頼らないでくらしと経済を立て直す道筋を示しました。青年たちが消費税増税問題について話し合いました。

「社会保障充実」実感ないよね

- A 私は1990年生まれで当時、消費税率は3%だった。物心ついたときには5%で、何をかうにも消費税を合わせて払うのが当たり前になっている。
- B 確かに普段、税金を納めているという感覚なく払っているね。8%が上がった時は結構、重くなった気がしたけど…。
- C 自民党の文書は「社会保障に使う」というけど、社会保障が長くなった実感はない。消費税って「なんで取られているんだろ」と思う。
- D 医療や介護の財源を消費税に求めているのが自民党の最大の欠陥だ。国税は法人税や所得税もあるんだ。
- E 歴代政府は大企業・富裕層向けに所得税や法人税を減税してきた。例えば大企業は、研究開発減税などいろいろな減税措置があつて法人税をまけてもらっているんだ。もうけに対する実質的な法人税負担率は、中小企業が約20%なのに大企業は約10%しかない。
- F 消費税を上げた分、大企業の法人税が下がっているなんて「逆じゃないか」と思う。支払い能力のある人がもっと払うべきだ。
- G 一方で社会保障は、悪くなっているくらいだ。例えばお年寄りの医療費の窓口負担は無料だった。ところがいま75歳以上は原則1割、70〜74歳は2割負担になっている。サラリーマンだって今は3割負担だけど、昔は1割だった。
- H 今の社会って、真面目に生きている人ほど経済的に苦しくなる気がする。消費税増税でさらに追い打ちをかけるつもりは最低だ。
- I 大企業負担軽減すぎ
- J 介護施設が充実するなら、消費税が上がってもいいという人もいます。

(ついで)
(2)回連載です